



ふくちやまし

# 議会だより

No.45

平成15年2月1日  
発行 福知山市議会

編集  
福知山市議会だより編集委員会  
福知山市字内記13の1  
☎0773(22)6111



消防出初式でおひろめされた30m級はしご車

## 12月定例市議会の概要

12月定例市議会は、12月2日から20日までの19日間にわたって、「平成14年度一般会計補正予算」など22議案を審議し、9月定例会で継続審査とし、決算審査特別委員会で審議していた「平成13年度歳入歳出決算の認定」及び「平成13年度企業会計決算の認定」の2議案との24議案を、いずれも原案どおり可決した。

なお、この議会では、議会運営委員会委員の辞任に伴い、新たに委員を指名して議会運営委員会の構成を行ったほか、全議員を委員とする市町村合併特別委員会を新たに設置した。

また、議会発議による「福知山市議会議員定数条例の制定」と「議会議規則の一部改正」の2議案をいずれも可決した。請願については、7件の提出があり、その内2件を採択し、意見書として関係機関に送付した。

### ◆補正予算

一般会計で9,923万3千円の減額、特別・企業会計で4,456万5千円の増額、合計で5,466万8千円を減額補正し、補正後の全会計の総額を671億8,286万4千円とした。

今回の補正の主な内容は、給与改定等(市議会議員報酬、特別職及び市長並びに一般職職員給与の引下げ)に伴う人件費の減額補正のほか、民間保育所入所児童数及び単価増に伴う運営費の増額などによる補正である。

### ◆工事請負契約

●秋津が丘団地市営住宅第3期  
建替工事  
2億9,557万5千円

### ◆条例

福知山市条例の用語等の統一に関する措置条例の新設及び福知山市一般職職員の給与に関する条例の一部改正のほか8条例の一部改正、また、福知山市牧野条例ほか3条例の廃止を行った。

### ◆国へ提出した意見書

●WTO農業交渉等に関する意見書(8ページに詳細を掲載)

# 一般質問

(12月定例会)

## 公明党議員団

小野 喜年  
今次 淳一

### 光ファイバー事業の現状について

**問** 「北の都」をめざす本市には、高速情報通信・光ファイバーの整備が必要だと思いが、現状と今後の利用計画は。

**答** 現在市内ランの整備を行っている。次のステップとして光ファイバーを調査研究していく。

### 連続立体交差事業の駅舎について

**問** 新しい駅舎の中に保育園・行政の24時間サービス・金融機関・貸し会議室・図書館など、住民に密着した施設設置の要望交渉は。

**答** JRではレイアウトのみを検討している段階だ。内部については何も聞いていない。

### 身体障害者補助犬法への対策は

**問** 10月1日から法律が施行されたが、本市の取り組み方と問題になっている点は何か。

**答** 府内には盲導犬20頭、介助犬8頭、聴導犬1頭がいるが、数が少ない。どうしていくか難しい。

### 小・中学生が自転車に乗る時のヘルメット着用について

**問** 自転車に乗る子ども事故が発生している。最近の事故件数とヘルメットに対する注意はどのように指導されているのか。

**答** 小・中学生の事故は平成10年20件、11年12件、12年20件、13年18件、14年11月現在23件発生している。中学校で通学に許可している生徒は448名。ヘルメット着用に対する特別な指導はしていないが、交通安全指導はしている。ヘルメット着用の効果は大きいので、PTAと学校で協議していきたい。

### 「ブックスタート」事業について

**問** 保健センターで「赤ちゃんに、お母さんの声を聞かせよう」と、

乳幼児検診の際に絵本を贈る「ブックスタート」事業の考えは。

**答** 関係機関、またボランティア団体のみなさんと検討し、実施する計画を進めている。予算が確保できれば来年度中にも実施したい。

### 新生児の聴覚検査の実施について

**問** 聴覚障がいを早期に発見し、早い段階で適切な措置を講ずる必要がある。新生児の聴覚検査の実施の考えは。

**答** 実施については、病院・医療機関等の意見を聞きながら、今後の検討課題としたい。

### 「オストメイト対応トイレ」の公共施設への整備を

**問** 厚生会館以外の公共施設への設置の考えは。

**答** オストメイトの人にとってはあってほしい施設だが、オストメイト対応トイレは場所を取り、お湯も必要である。今後その辺の所を十分検討させていただきたい。

## 福政会

野田 勝康 和泉すゑ子  
荒木 治清 芦田 弘夫  
片山 照雄 武田 義久

### 平成15年度予算編成について

**問** 平成14年度予算に対する市税等の歳入見通しは。

**答** 市税では、個人市民税が11月末現在で予算に対し96・8%の調定である。法人市民税は経済状況により大幅に落ち込んでおり予算に対し83・97%、固定資産税は償却資産が増加しており予算対比101・14%となっているが、全体では約1億円くらい下回る見通しである。

**問** 平成15年度の予算編成方針は。

**答** 国税が減っているため地方交付税等も減額になり来年度の予算編成は非常に厳しいことになる。人件費は減額しているし、投資的経費は抑制をはかる。経常経費は前年度比3%、また、団体に対する補助金は5%減らすなど、非常に苦しい予算編成になるのではないかとと思う。

### 不況、雇用対策について

**問** 10月の完全失業率は5・5%で昨年の12月と並び過去最悪とな

ったが、福知山ハローワーク管内の雇用状況は。また、来春卒業する高校生の就職内定率はどのような状況にあるのか。

**答** 福知山ハローワーク管内の10月の有効求人倍率は0.76倍で前年同期と比較すると横ばいである。来春卒業する高校生の就職希望者数は439人で、内定率は男子が41.7%、女子が38.2%である。

**問** 本年度、市が実施している中高年緊急雇用奨励補助金支給事業の利用状況は。

**答** 現在、申請件数が36件で今年中に60〜70件を見込んでいる。

### 大型スーパーの進出計画について

**問** 出店反対の要望書と進出を歓迎する要望書が市に出されているが、市長の見解は。

**答** 市街地の商店の方は、プラカードのようなものを店頭に出されて進出について反対だという意思表示をされている。私としては市民の大多数の方がそういう立場に立たれるということについては無視するわけにはいかない。

### 市町村合併のねらいと今後の課題

**問** 合併に係る財政シミュレーションは、京都府の統一モデルで、「合併前」より「合併後」の財政状況が良くなるようにできている。見解はどうか。また、このような合併誘導とも思える資料により、住民説明会をされるなら、事前にその点を十分説明願いたい。

**答** このモデルは一つのパターンであるので、これがすべてではない。合併誘導とは思っていないが、誤解のないよう、説明には十分配慮する。

### 上下水道料金を中心とした公共料金改定への考え方は

**問** 昨年6月に行われた、上下水道料金の値上げは、現状の経済情勢に合わないのでは。マイナス改定はありえるか。

**答** 本事業は、設備投資の必要があるので、改修費用や新規建設費用の比率が高い。これらの費用が下らない限り、料金の減額は困難である。

### ゆずりトンネル開通と国道429号の交通安全について

**問** 半世紀の請願運動が実り、トンネルが開通した。危険な交差点

の信号機や無歩道区間の対策は。

**答** 談の交差点は、現在考えていない。上豊富小学校前は信号機設置の方向で考える。小牧から談の間の無歩道区間については、交通量等の状況を見て判断のうえで対処したい。

### 豊富街道ゆずりトンネル経由、夜久野町までのバス運行について

**問** 福知山及び夜久野町沿線住民は運行を熱望しているが。

**答** バス会社・市・夜久野町で、鋭意検討していく。

## 新政会

- 田淵 弘
- 森田 泰英
- 田中 泰治
- 塩見 仁
- 井上 重典
- 穂田 司正
- 松本 良彦
- 加藤 弘道

### 合併問題について

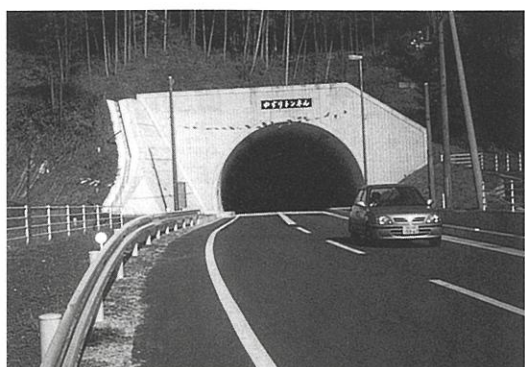
**問** 合併についての基本的な考え方は。なぜ1市3町なのか。

**答** 6月28日に1市3町での分科会が発足し、具体的な検討に入ったが、他の案は提案されなかった。2市3町だと12万人になるが、それは形式的なもので、市町はそれぞれ総合計画をもつまちづくりを進めており、単に人口数値だけによる枠組みでは判断していない。合併問題は、相手となる市町の考え方と合致することによって進んでいくものである。1市3町

### 10万都市構想

**問** 長年の悲願である10万都市構想はどうなったのか。

**答** まちづくりの基本構想10万都市は厳しい目標であるが、合併があるなしにかかわらず、鋭意進めていきたい。総合計画の理念をもち、よりグレードアップした内容で理想を高くもち、取り組む必要がある。



完成した府道談 夜久野線ゆずりトンネル

本市の行財政課題について

財源確保が困難な時こそ、真に費用対効果を見極めた予算編成が必要であると考えるが。

費用対効果の見極めは十分に検討を加え、健全財政を基本にして、市民サービスの向上に向け環境整備、都市基盤整備、少子高齢化に対応した福祉の充実などを重点にする。経常経費3%、運営補助金は一律5%、事業費については当初予算の5%を、それぞれ減額するなど、厳しい予算編成方針を出している。

ガス事業は全国的に公営企業としての運営が少なくなっているが、民営化の考えはないか。

市では平成10年に天然ガスに転換したところで、魅力があると考えている。15年度には繰延勘定が完了するので、16年度から好転の見込みであり、公営でやっていきたい。

市では平成10年に天然ガスに転換したところで、魅力があると考えている。15年度には繰延勘定が完了するので、16年度から好転の見込みであり、公営でやっていきたい。

市では平成10年に天然ガスに転換したところで、魅力があると考えている。15年度には繰延勘定が完了するので、16年度から好転の見込みであり、公営でやっていきたい。

市では平成10年に天然ガスに転換したところで、魅力があると考えている。15年度には繰延勘定が完了するので、16年度から好転の見込みであり、公営でやっていきたい。

情報公開について

平成14年3月に条例を制定し準備を進めているが、公開を始める具体的な時期はどうか。

情報公開は平成15年度の当初からしていきたい。国においては個人情報保護法案が提案されるよう

厳格に規制されると思うので、よく考えねばならない。

市民の声について

市民から寄せられる意見や要望などの傾向と内容はどうか。

13年度においては、市庁舎の「声の箱」や新聞にだされた市に対する意見は25件、メールが13件であり、内容は多岐にわたる。

回答を広報する時の取り扱いはどうか。

「声の箱」で受けた内容は、各課で対応案を記入して回覧し、庁内で検討調整した後、必要に応じて回答している。

「構造改革特区」構想について

地方公共団体などが立案して規制の特例を導入するなどの特定の区域を設け、構造改革を進めるという「構造改革特別区域」についての考えはどうか。

一定の規制のもとにおいて、魅力ある施策展開がしにくい事業を全庁的に洗い出している。今後、これに対する規制項目を分析調整した後、一定の提案をまとめ、1月15日に国に提出していきたい。

長安寺公園にトイレの増設を

長安寺公園のトイレは、観光客らにとって不便であり、増設が必要と考えるがどうか。

下水道工事を計画的にしているが、来年度敷設ができるので、水洗化を進める予定としている。設置場所はその際検討したい。

国道9号の交通安全確保について

住所大山から下小田の間は歩道の幅員が狭く、拡幅の要望が強いがどうか。

一方がガケになっているので拡幅は難しいが、なんとか広げてもらわないと危険だ。国土交通省に話さねばならない。

国道9号の佐々木川橋は幅員が狭く、大型車のすれ違いがしにくいので改良を望むがどうか。

老朽化しており、補修計画に向けて検討されていると聞いているので、早い機会にできるのではないかと期待している。

自民クラブ

- 永田 時夫 立道 正規
有 幸男 和田 久

市長が掲げる北近畿の中核都市「北の都づくり」について

基本姿勢とビジョンは。

交通網や情報通信などの広域拠点整備・インフラ整備・産業基盤の活用・豊かな自然・商都としての歴史・文化を土台に、よりグレイドアップしたまちづくりを基本理念として、にぎわい・風格の漂う北の都としてのランドデザインを描けるよう、諸施策を進めたい。

京都創成大学の雇用の受け皿づくりは

京都創成大学は、あと1年余り第1回の卒業生を社会に送り出すことになるが、就職や雇用の受け皿づくりは。

商工会議所と相談しながら、市内の中小企業などへの道を開くことを考えてもいいと思う。

水内にJR駅舎の設置を

多くの学校がある水内に(仮称)学園前駅舎の設置を。

**答** 福知山駅から1・3 kmの近い距離なので、設置は難しいと聞く。学生や住民にとって非常に便利な駅になると思うので、一度JRにあたってみたい。

**問** 頻繁に発生する雨水・排水被害についての対策は。

**答** 現在、調査をしており、終われば、長い年月がかかるが、やっていきたい。

**問** 大型スーパーの出店で、交通量の増加をどのように予想するか。

**答** 福知山商工会議所のデータでは、出店後は平日で1日平均2万2千台、休日で平均2万7千台の通行を想定している。今のままでは渋滞をおこすので、拡幅が必要だが、工事は難しい。

**問** 大正学区の排水対策について

**答** 成木林は35年生以下が40%、50年生以上が12%で、地元要望に対する整備済林道は54 km、作業道は90 km、平成13年末での要望は、16 kmあり、受付順に整備している。

**問** 市有林・共有林の成木林と育成林の割合は。また、林道・作業道の整備要望は。

**答** 成木林は35年生以下が40%、50年生以上が12%で、地元要望に対する整備済林道は54 km、作業道は90 km、平成13年末での要望は、16 kmあり、受付順に整備している。

**問** 市有林・共有林の成木林と育成林の割合は。また、林道・作業道の整備要望は。

**答** 成木林は35年生以下が40%、50年生以上が12%で、地元要望に対する整備済林道は54 km、作業道は90 km、平成13年末での要望は、16 kmあり、受付順に整備している。

**問** 人工林と天然林の面積割合は。

**答** 人工林は8,094 haあり44%、天然林は9,419 haで51%となっている。

**問** 市有林・共有林の成木林と育成林の割合は。また、林道・作業道の整備要望は。

**答** 成木林は35年生以下が40%、50年生以上が12%で、地元要望に対する整備済林道は54 km、作業道は90 km、平成13年末での要望は、16 kmあり、受付順に整備している。

**問** クマ・シカなど有害鳥獣による被害林の状況は。

**答** 平成13年末で約15 haあり、被害額は450万円となっている。

**問** 国定公園の指定計画と、森林整備の関係は。

**答** 主に自然保護の目的で計画されるので、森林整備計画とは直接には関係はない。

**問** 北部簡易水道の整備について

**答** 三岳・川口・北陵・長尾の4箇所。今年度末で事業費に換算すると43%の進捗となる見込みだ。平成17年度の完了をめざして取り組んでいる。

**問** 整備の進捗状況は。

**答** 三岳・川口・北陵・長尾の4箇所。今年度末で事業費に換算すると43%の進捗となる見込みだ。平成17年度の完了をめざして取り組んでいる。

**問** 三岳・川口・北陵・長尾の4箇所。今年度末で事業費に換算すると43%の進捗となる見込みだ。平成17年度の完了をめざして取り組んでいる。

**答** 三岳・川口・北陵・長尾の4箇所。今年度末で事業費に換算すると43%の進捗となる見込みだ。平成17年度の完了をめざして取り組んでいる。

日本共産党市会議員

- 仲林 清貴 足立 進
藤井 節子 渡辺 麻子

市町村合併について

**問** 市民への説明資料は、財政シミュレーションなど適確な情報ではないと考えるが見解は。

**答** また、法定協議会設置の議案を提出する判断の基準や、市民へのアンケートについての考えは。

**問** 財政シミュレーションは、市民に一定の数値を示さないとわかりにくいので、京都府の指導のもとでつくったもの。市税は同じ額になっているが、ありえないだろう。信憑性は不確かなもの。赤字になるとしているが、そうは思っていない。法定協議会は、住民説明会の様子聞き、情勢判断したい。アンケートは、住民説明会に多くの市民がくることにはならぬので、説明会の時点で状況をみながら善処していきたい。

**問** 地域経済へもたらす影響をどうみているのか。また今後の対応策は。

**答** 六人部の大型店出店への対応

**問** 六人部の大型店出店への対応

**答** 地域経済へもたらす影響をどうみているのか。また今後の対応策は。

**問** 六人部の大型店出店への対応

**答** 地域経済へもたらす影響をどうみているのか。また今後の対応策は。

**問** 相当の影響が出てくるのは必ず。会議所の調査では、売上げが20%以上ダウンし、非常に打撃が大きい。会議所の調査や他の資料、独自の資料を参考にし、意見書などに反映させたい。

**問** 住宅改修への助成制度は、取り組まれている自治体では、経済対策に大きな効果を発揮している。本市での実施は。

**答** 現状では考えていないが、一度研究してみたい。

**問** 障害児の学童保育は

**答** 支援費制度へ移行する中で、強い要望が出されている障害児学童保育を実施する考えは。また、視覚障害者への点字発行物を充実させる考えは。

**問** 障害児学童保育は、現在ホームヘルパーを活用されているが、支援費に移行しても同様の利用になる。点字サービスの拡充については、経費をみて、やってみたい。

**答** 障害児学童保育は、現在ホームヘルパーを活用されているが、支援費に移行しても同様の利用になる。点字サービスの拡充については、経費をみて、やってみたい。

**問** 障害児学童保育は、現在ホームヘルパーを活用されているが、支援費に移行しても同様の利用になる。点字サービスの拡充については、経費をみて、やってみたい。

**答** 障害児学童保育は、現在ホームヘルパーを活用されているが、支援費に移行しても同様の利用になる。点字サービスの拡充については、経費をみて、やってみたい。

**問** 障害児学童保育は、現在ホームヘルパーを活用されているが、支援費に移行しても同様の利用になる。点字サービスの拡充については、経費をみて、やってみたい。

**答** 障害児学童保育は、現在ホームヘルパーを活用されているが、支援費に移行しても同様の利用になる。点字サービスの拡充については、経費をみて、やってみたい。

### 子育て応援の施策を

**問** 子育て応援のためのエンゼルプラン策定の進捗や、病後児保育の実施の考えは。また、学童保育や、医療費無料化拡充の考えは。

**答** エンゼルプランは、意識調査の準備中で、年度内に配布の予定。病後児保育は、今すぐとはいかないが、今後、施設の整備、看護師などの専門職の人員確保、医師との連携をはかりながら検討したい。学童保育は、来年度、新たに児童館では実施しない。校庭開放事業と児童クラブの整合性をはかりながら、子育て支援計画の策定とあわせて総合的に検討したい。医療費無料化は、府が何らかの形で制度拡充をした時は、財政的な負担はする。

### 市民病院の労働条件改善について

**問** 市民病院看護師のサービス残業についての見解は。また、支払い窓口電算化による高齢者への対応は。

**答** 残業については自己申告制で、申請するように指導している。支払い窓口は、対人窓口の案内表示をした。

### 介護保険制度の充実を

**問** 介護保険制度の見直しが行われているが、特別養護老人ホームの待機者数と対策は。また保険料や利用料の軽減をすべきだが、その考えは。

**答** 待機者数は、実数で約70人。5年後の計画の見直しを見込み、施設拡充も要望したい。保険料は、来年度から6段階で実施し、軽減をはかる。

### 医療費負担の軽減を

**問** 高額療養費の貸付制度は、保険料を完納していることが貸付条件であるが、緩和策は。また老人医療法の改正で、高額医療費の請求が大変不便だが改善策は。

**答** 貸付制度は、生活困窮世帯に對し、負担の公平性を損なわないことを前提に検討したい。高額医療費請求は、国からも指示があり、新たに検討したい。

### 公営住宅の修繕・改修の促進を

**問** 風呂釜が個人もちになっている団地での対策は。また電気ブレーカーの容量を増やす考えは。さらに、日本共産党市会議員団では現在アンケートをとっており、今後改善要望を出す、対応は。

**答** 福知山市公営住宅ストック総合活用計画で整備を検討していく。

### 地元木材で学校建設を

**問** 川口中学校の改築が予定されているが、地元産の木材を活用する考えは。

**答** 実施設計の段階で使えるように考えたい。

### 地域住民の安全確保について

**問** 音無瀬橋西詰の広小路通りの交差点、国道9号の佐々木川橋の拡幅、府道談夜久野線の談から下戸までの歩道設置など、安全対策は。

**答** 交差点は警察と協議しなければと思っている。老朽化している

## 無会派

荒川 浩司  
芦田 廣

### 青少年がダンスの練習を健全にできるスペースの確保を

**問** 青少年が駅南9号沿いの歩道でダンスの練習をしているが、このダンスをスポーツとして認識しているのか。また、健全に練習ができる公的スペースの確保が必要ではないか。

**答** スポーツとして認識するが、練習場については難しい。



青少年に健全で安全な練習場の確保を



大型車両の離合が難しく、架け替えが望まれる国道9号佐々木川橋

佐々木川橋の架け替えに向けて検討している。早い時期にできるのではないかと。歩道設置は状況を見ながら、要望していきたい。

## 総務委員会審査報告

当委員会に付託された議第37号ほか10議案を3日間にわたり委員会を開催し、慎重に審査を行った。

一般会計歳入歳出補正予算の歳入では、国が地方交付税の算出根拠である基準財政収入額を過大見積りしたための減額補正であり、消防費受託事業収入の減少は、職員給与の減額改定に伴う3町負担金の減によるものである。

議第50・51号の人事院勧告に伴う一般職員給与減額改定に関わる条例改正では、今回の給与減額改定が、多くの市内事業所に波及し、労働者の生活に大きな影響を及ぼすと考えられるが見解は、との質疑に、民間への跳ね返りによる影響はあるものと推測するが、やむをえない、との答弁があった。

議第52・54号の条例廃止については、約20・30年前の特例措置条例だが、長期間気が付かずに放置されていたことは遺憾で、今後は常に確認し、適切な処置を怠らないように厳しく指摘を行った。

議第46・48・49号の議員報酬及び市長等常勤特別職の給与改定に関する条例の一部改正については、特別職等報酬審議会の答申について議論が集中し、府下各市及び類似行政団体の状況比較においても、市長等の給与は高い位置であるのに対し、議員報酬は半分にも満たない中で、同率5%減額とされる根拠と具体的な背景を問う質疑が多くあった。これに対し、答申は、人事院勧告、府下各市・類

似団体、市民感情等々の総合的判断で同率となった旨の答弁があったが、各委員からは、議員の立場や身分保障、議員の育成・活動など、議員が置かれている厳しい立場が斟酌、勘案された減額率なのかどうか根拠が判りにくく理解しがた、との意見が多数出された。

しかし、当委員会は、基本的見地を認識・確認し、長引く不況、極めて厳しい社会経済情勢や当市の財政状況等々に鑑みるとともに、人事院勧告や特別職等報酬審議会の答申を真摯に受けとめ、この重要かつ厳しい時に、市民生活を混乱させるような市政の停滞や予算執行に影響を及ぼすことがなきよう熟慮を重ね、問題点を指摘して提出議案に賛同することとした。

以上の経過で審査を終え、採決の結果、全議案全員賛成で承認可決した。

## 市民厚生委員会審査報告

当委員会に付託された議第37号ほか5議案の審査を行った。

病院関係では、医療収益など補正内容の説明を受け、たな卸資産購入限度額についての質疑に対して、病院事業の場合は薬品のみとなっており、使用した分だけ予算執行をしている。また、毎月在庫管理をしており、特に動いていない薬品や、多くの在庫を有するものは返品をしているとの答弁があった。

福祉部関係では、要介護認定ソフト改修によるシステム整備の質疑があり、国

の認定システムを本市に適用するもので、過去2年間の実績をふまえて制度向上のために来年度から新システムに変更するとの答弁があった。

市民人権部関係では、駅南区画整理事業換地処分告示に伴うシステム開発などを業務委託するもので、戸籍・住民基本台帳を変換することにより、多くの行政事務に影響が発生するとの説明を受けた。

以上で審査を終え、採決の結果、全議案全員賛成で可決した。

## 経済委員会審査報告

当委員会に付託された議第37号平成14年度一般会計補正予算ほか6議案について審査を行った。最初に、下水道部から

議第40号平成14年度農業集落排水施設事業特別会計補正予算について、職員の給与改定により総額469万5千円の減額補正を行う旨の説明を受け、質疑を行った。次に、ガス水道部から議第42号平成14年度ガス事業会計補正予算については、職員の給与改定による人件費の補正並びに駅南土地地区画整理に関わる収益的収入の増額と収益的支出の減額、資本的収入の増額と資本的支出の減額等の補正である旨、議第43号は、水道事業の補正予算であり、これも給与改定に伴う補正と収益的支出の881万5千円の減額、資本的支出の51万円の減額である旨の説明を受けた。また、議第56号は、ガス水道部職員の給与の種類及び基準を定める条例の改正であり、議第57号は、水道事

業給水条例の一部改正である旨の説明を受けた後、それぞれの議案に対し質疑を行った。最後に、経済部から農林業費及び商工費において、職員の給与改定に伴う補正等を行うものであり、議第58号は牧野条例を廃止するものであるとの説明を受けた。

以上の経過で審査を終わり、採決の結果、全議案全員賛成で可決した。

## 文教建設委員会審査報告

当委員会に付託された議第37号平成14年度一般会計補正予算及び工事請負契約の締結についての2議案であった。補正予算では私立幼稚園就園奨励費補助金の増額で、特に園児の2人目、3人目についての交付額が大幅に増額改定されたため、予算に不足が生じたものであるとの説明であった。委員から、本市の私立幼稚園の位置付けと援助の考え方についての質疑があり、私立2園と公立8園がある中、私立では3歳児から5歳児までの就学前教育を担って頂いており、重要な存在であるとの答弁があった。次に、工事請負契約の締結については、秋津が丘団地市営住宅第3期建替分であるが、昨年からの導入している最高予定価格の公表による入札状況についての評価はどうかとの質疑に対し、より適正な競争につながっているとの答弁であった。

以上で審査を終わり、採決の結果、全議案全員賛成で可決した。

### 12月定例会で提出した意見書

#### WTO農業交渉等に関する意見書

今日、WTO農業交渉は、来年3月末のモダリティーの確立に向け、山場を迎えつつあり、我が国と他国との間で「自由貿易協定」の締結に向けた検討が始められているが、国民の将来の食糧需給に対する懸念を払拭するとともに、我が国を含む世界の家族農業を守るため、以下の諸点について格段の配慮がなされるよう強く要望する。

1. WTO農業交渉について
  - (1) 「多様な農業の共存」という我が国提案の基本を達成することができるよう、農業の多面的機能などの「非貿易的関心事項」が配慮されたモダリティーを確立すること。
  - (2) アメリカやケアンズ諸国の提案を断固拒否するとともに、MA(エム・アクセス)制度を改善し、米の総合的な国境調整措置を堅持すること。また、関税については、品目ごとに柔軟性を確保できる削減方式とすること。
  - (3) WTO農業交渉は、生産者だけの課題ではなく、国民的な課題であることから、理解促進のための対策を積極的に展開すること。
2. 自由貿易協定について
  - (1) 農林水産物については、品目ごとの事情を十分に検討し、国内関係品目に影響が生じないように対応すること。
  - (2) 食料自給率が極端に低い現状や将来の食糧需給に対する国民の懸念に十分配慮し対応すること。

平成14年12月20日  
内閣総理大臣・農林水産大臣 宛  
経済産業大臣・外務大臣

### 請願(12月定例会上程分)の審査結果

#### ◆採択したもの

- WTO農業交渉等に関する請願
  - 請願者 京都農業協同組合  
代表理事理事長 谷利 静夫
  - 請願者 京都丹の国農業協同組合  
代表理事組合長 井上 實義

#### ◆継続審査となったもの

- 福知山市での乳幼児医療費制度拡充を求める請願
- 教育予算の増額及び教育条件の整備充実に関する請願
- 小・中学校の30人学級実現を京都府に求める意見書採択を求める請願
- 子どもたちに豊かな放課後を保障するために全小学校区に学童保育制度・校庭開放制度の拡充・充実を求める請願
- 福知山市の各学校図書館の図書の実充を求める請願

### 市町村合併 特別委員会を設置

12月定例会で、今後、重要な課題となる市町村合併問題について、調査研究し、協議を重ねるために、全議員による市町村合併特別委員会(委員長 立道正規議員、副委員長 仲林清貴議員)を設置しました。

### 議会日誌

〔11月～1月〕

- 11月
- 1日 議会運営委員会、近畿市議会議長会事務局職員研修会(吹田市)
  - 11日 埼玉県北本市議会行政視察、京都市市議会議長会事務局職員研修会(舞鶴市)
  - 12日 熊本県玉名市議会行政視察
  - 14日 全国市議会議長会基地協議会58回理事会(東京)
  - 15日 市町村合併調査研究委員会
  - 18日 岩手県水沢市議会行政視察、総務委員協議会
  - 19日 秋田県横手市議会行政視察、経済委員協議会、文教建設委員協議会
  - 20日 市民厚生委員協議会
- 12月
- 2日 定例会開会(決算審査特別委員会委員長報告・採決、提案理由の説明)、市町村合併調査研究討議会
  - 10日 本会議(議案質疑、一般質問)
  - 11日 本会議(一般質問)、市町村合併調査研究委員会、各派幹事会
  - 12日 本会議(一般質問)
  - 13日 各常任委員会
  - 16日 総務委員会、市町村合併調査研究委員会
  - 18日 総務委員会
  - 20日 各派幹事会、本会議(委員長報告・採決)全議員協議会、議会運営委員会、議会だより編集委員会
- 1月
- 10日 議会だより編集委員会
  - 16日 三重県松阪市議会行政視察
  - 20日 議会だより編集委員会、市町村合併特別委員会
  - 23日 全国市議会議長会事務局職員研修会(東京、24日)
  - 24日 文教建設委員会行政視察(美山町)
  - 27日 京都府北部四市議会連絡協議会事務局次長会(福知山市)
  - 28日 京都市市議会議長会事務局次長会(京都市)
  - 30日 岐阜県高山市議会行政視察

### 訂正のお知らせ

14年11月1日付発行の議会だより9月定例会号(No.44)6ページ、無党派「C」APプログラムの導入を「の答弁の中で『各小学校で、PTA主催による...』となっておりするのは、『各小学校で、子供会やPTAの主催による...』との誤りですので、訂正し、お詫びいたします。

### 編集後記

福知山市制65周年を迎えた平成14年は、ステップアップの年として、安心・安全を目標に頑張つてまいりました。しかし、長引く不況と厳しい経済情勢のなか、明るいニュースが少なかったように思います。そんな中で、本市では駅周辺整備やリサイクルプラザの工事が順調に進み、市民病院の全面改築も計画され、着実に生活環境整備が進められています。

12月定例会は、給与改定に伴う人件費の減額補正や、市町村合併に関する問題が主流になりました。特に合併問題は、福知山市の今後の展望を見出す重要な問題であり、私たち議員も将来像をしっかりと見据え審議していく決意です。

今後とも、より充実した内容の議会だよりの編集に努めてまいりますので、ご意見、ご要望があれば、お聞かせください。